

千葉県八千代市

作山遺跡 d 地点発掘調査報告書

2010

八千代市教育委員会

## 凡 例

1. 本書は、千葉県八千代市小池字作山414-1他に所在する、作山遺跡d地点の発掘調査報告書である。
2. 調査は、八千代教育委員会が実施した。
3. 発掘調査は以下のように実施した。  
調査期間 2009(平成21年)11月10日～2010(平成22年)1月4日  
(本調査) 調査面積 16㎡ 調査原因 墓地造成 (担当 宮澤久史)
4. 整理作業及び報告書作成作業は、2010年1月4日～3月15日までの期間行った。
5. 本書の編集・執筆は、第1章第1節第2節を宮澤久史が、その他を伊藤弘一が行い、宮澤が総括した。
6. 実測図・写真等の資料は八千代市教育委員会で保管している。
7. 第1図に使用した地形図は、国土地理院発行の25,000分の1地形図「習志野」・「佐倉」をもと作成にした。
8. 第2図に使用した地形図は、八千代市発行の2,500分の1八千代都市計画基本図である。
9. 実測図の縮尺については、以下のとおりであり適宜図に示した。 土坑 1/20
10. 第1章第3節の遺跡分布は下記の文献を参考に作成した  
(財)千葉県文化財センター 1997年 「千葉県埋蔵文化財分布地図(1) 一東葛飾・印旛地区(改訂版)」
11. 第1章第3節を中心とした「台」・「谷」・「支台」・「支谷」は、「殿内遺跡b地点」の発掘調査報告書で正式に命名された名称に従う。  
森 竜哉他 2009年 「千葉県八千代市 殿内遺跡b地点」 八千代市教育委員会
12. 諸般の事情により調査時に標高を算出できなかった為、水系レベルは任意の高さによる。
13. 作山遺跡d地点における確認調査範囲の結果については、市内遺跡発掘調査報告書で報告されている。八千代市教育委員会 2010年 「千葉県八千代市 市内遺跡発掘調査報告書 平成21年度」
14. 発掘調査から整理作業の間において以下の方々にご指導・ご協力いただき感謝いたします。  
村田一男 道上 文 内田武志 藤 由美

## 目 次

### 凡 例

### 目 次

第1章 調査経過及び概要……………1～4	第2章 検出された遺構……………5
第1節 調査に至る経緯……………1	第1節 1P……………5
第2節 調査の方法と経過……………1	第3章 成果と課題……………5
第3節 周辺の地理的・歴史的環境……………1	報告書抄録
第4節 作山遺跡の概要……………4	

### 挿図目次

第1図 周辺の遺跡……………2
第2図 作山遺跡調査地点図……………2
第3図 作山遺跡d地点トレンチ配置図……………3
第4図 1P実測図……………5

### 図版目次

### 写真図版



# 第1章 調査経過および概要

## 第1節 調査にいたる経緯

取り扱いの協議から確認調査まで 平成20年5月22日、豊田英樹氏（以下、「事業者」と略）から墓地造成に伴い、八千代市小池字作山415番ほかの土地について、「埋蔵文化財の取扱いについて」の確認文書が八千代市教育委員会（以下、「市教委」と略）に提出された。対象地の現況は山林と畑で、市遺跡No.1作山遺跡の範囲内であり、過去、隣接地点の調査で遺構が検出されていた。このことから、市教委は、遺構が検出される可能性が高いと判断し、遺跡が所在する旨を同年6月30日に回答した。この回答を受け、事業者と市教委との間で埋蔵文化財の取り扱いに対する協議を行い、遺跡の範囲、性格等を明らかにするための確認調査が行われることになった。同年7月に文化財保護法第93条の届出が提出され、準備の整った同年8月1日に調査を開始した。

確認調査から本調査まで 確認調査は、市教委が平成20年度市内遺跡発掘調査事業として、平成20年8月1日～12月1日の間、実施した。確認調査の結果、弥生時代後期の竪穴住居跡14軒、古墳時代前期の竪穴住居跡1軒、古墳時代後期の竪穴住居跡1軒、奈良・平安時代の竪穴住居跡1軒、中世・戦国時代の土坑3基等を検出し、対象地区の大部分に遺構が所在することが明らかになった。この結果を踏まえ、事業者と市教委との間で埋蔵文化財の取り扱いの協議が進められた。この間に、事業者が、地権者である豊田氏から、墓地造成の事業主体である宗教法人東栄寺代表役員守山浩樹氏に変更されたが、事業地は同一であったため、引き続き東栄寺を事業者として協議を進めた。協議の結果、盛り土による現状保存が可能な地区については、現状保存の措置を行い、掘削が深くおよび、現状保存が困難な地点については、記録保存の措置としての本調査を行うこととなった。本調査は、事業者からの調査協力金を得て、八千代市の平成21年度民間開発等埋蔵文化財発掘調査事業として、八千代市が直営調査として実施することとなった。諸準備の整った平成21年11月10日から開始し、平成22年1月4日までの間、実施した。

## 第2節 調査の方法と経過

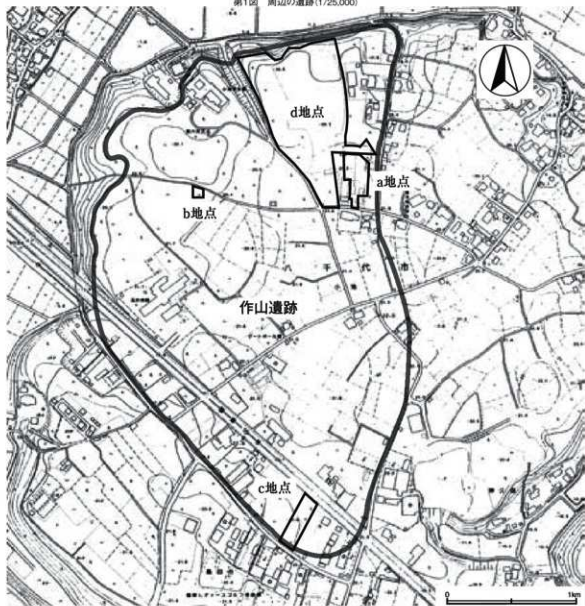
取り扱いの協議の中で盛土保存が困難な16㎡についてが調査対象となった。調査対象地区の表土除去作業を行い、表土除去後、ソフトローム上面で遺構確認作業を行った。検出された遺構については、土層観察用のベルトを適宜設定し、覆土除去を行なった。調査の進捗にあわせ、写真撮影、図面作成等の記録作業を実施した。写真撮影にはプロローニー判のモノクロフィルム、カラーリバーサルフィルムを中心に使用し、補助的に35mmモノクロフィルム、カラーリバーサルフィルムを使用した。

実測方法としては、調査区が狭小であることもあり、近隣の調査で使用した公共座標上に乗っている基準杭を利用し、光波測距儀による測定を行い現況測量図に落とし込んでいった。

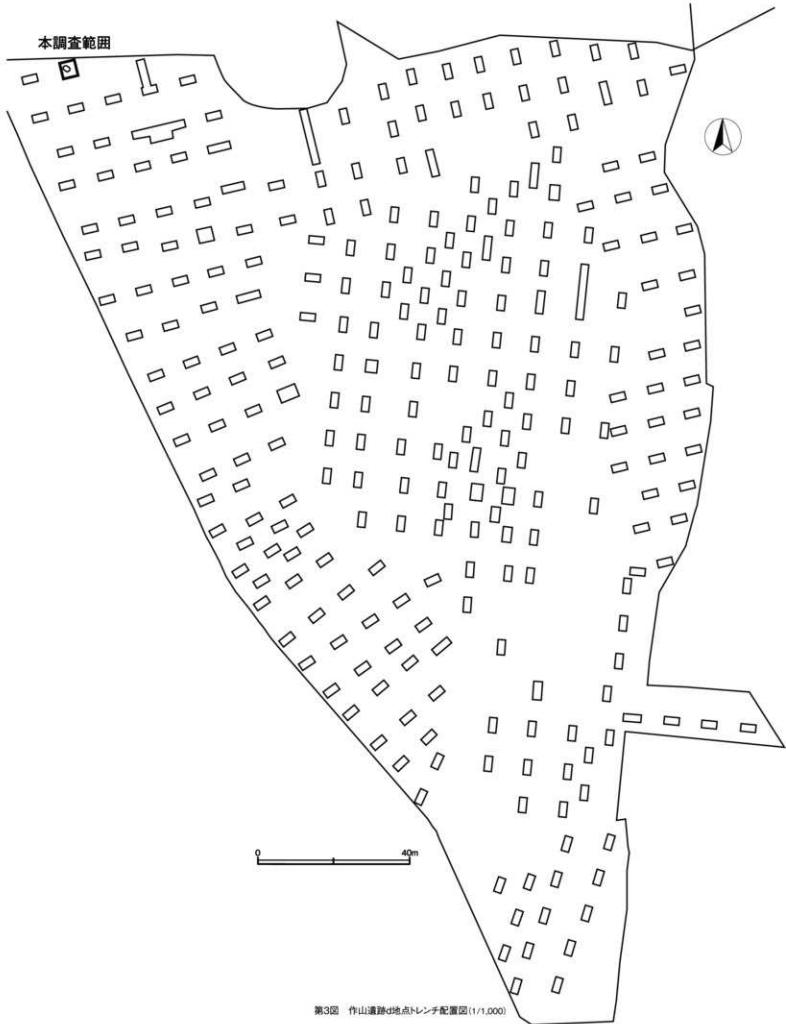
調査期間は、平成21年11月10日～平成22年1月4日までの間である。11月10日～26日の間、機材搬入及び調査区設定、現況写真撮影、環境整備等の準備作業を行い、11月27日、表土除去作業を行なう。12月8日から遺構検出作業、遺構調査を開始する。以後、雨天やその他諸般の事情で調査が断続的になりながらも調査を継続する。12月28日、遺構調査を終え、全景写真を撮影する。平成22年1月4日、機材撤収などの残務を行い調査終了となる。

## 第3節 周辺の地理的・歴史的環境（第1図）

船橋市、白井市、印西市、八千代市に流域が広がる神崎川は、船橋市三咲町付近を源にし、白井市下長殿へ向かい北上した後、白井市神々廻付近で南東方向へ流れを変え新川と合流する。下総台地を流域とする河川の地形は、水源と流末との比高差が小さく流れは緩やかで台地を樹枝状に開析し、神崎川流



本調査範囲



第3図 作山遺跡の地点トレンチ配置図(1/1,000)

域も同様である。作山遺跡の周辺には濃密な遺跡の分布がみられ、神崎川に根差した地形環境が遺跡の立地に大きく影響を与えている。市域における台地はおおむね西部が高く、北東部に向けて高度を減じていく。作山遺跡は、西を鈴身川に東を北ノ谷津に画された舌状台地上に広がり、台地の標高は約20～22mを測り、現水田面との差はおよそ14mである。作山遺跡の周辺に展開する遺跡を概観する。

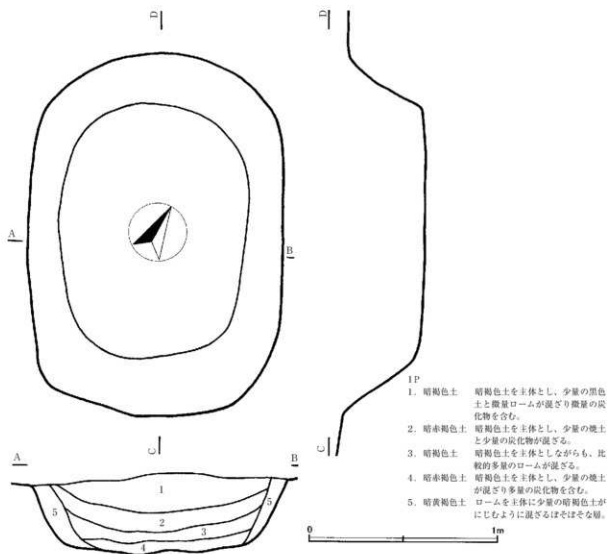
八千代市 作山遺跡に隣接する②原内遺跡では、弥生後期から古墳前期、平安時代の住居跡等の遺構が確認できる。④妙正神遺跡では、旧石器剥片、縄文石器、弥生後期住居跡、弥生後期周溝墓、古墳前期住居跡、近世塚（神久保塚群）がみられる。神崎川右岸台地上の⑥真木野遺跡から⑬子の神台遺跡までは、市内でも特に遺跡が集中する地域である。その範囲内に含まれる遺跡は、弥生時代後期から古墳時代前期にかけて大規模に集落が形成され、流域の開発が社会構造の変化によって行われたと考えられる。⑦松原遺跡は旧石器～奈良・平安時代の複合遺跡であり、各時代の遺構が検出されている。⑧瓜ヶ作遺跡は縄文早期炉穴を検出し、縄文住居跡、弥生住居跡、古墳前期の住居跡も認められ塚も含んでいる。⑨東山久保遺跡は、古墳時代後期が主体となり、弥生後期、古墳前期の住居跡が次ぐ。⑩真木野向山遺跡は、縄文早期炉穴、中期住居跡、古墳前期住居跡が認められ、弥生、奈良・平安の土器がみられ塚も含む。⑪佐山台遺跡は、古墳前期住居跡が主体となり、縄文中期住居跡が検出され古墳中・後期の土器などが確認できる。また真木野古墳（円墳）、佐山台古墳（帆立貝式古墳）を含む。佐山台遺跡、田原窪遺跡範囲内では古墳が点在し、田原窪古墳群を構成している。⑫田原窪遺跡は弥生中期の環濠集落が衆目を集め、古墳前期住居跡、後期住居跡も確認できる。⑬佐山貝塚は、縄文加曾利B式期に形成された馬蹄形貝塚と想定されている。また佐山塚群を含む。⑬子の神台遺跡は古墳各時期に主体があり、弥生後期、平安においても住居跡が確認できる。船橋市 ⑮台遺跡は鈴身川を挟んだ舌状台地上に広がり、縄文中・後期、古墳前期の遺跡である。台地先端には⑯小野田城跡が所在する。⑯小野田所在塚は、遺跡範囲の東側縁辺部に所在する。また台遺跡から距離を隔てた南西には、⑲車方所在塚が所在する。作山遺跡から、神崎川右岸を約8kmさかのぼった地点に⑳小室台遺跡が広がり、旧石器各種石器、縄文中期竪穴住居跡、古墳前期住居跡、古墳周溝、奈良・平安時代竪穴住居跡、中世台地整形区画等の遺構が検出されている。同台地上には縄文後期～晩期の住居跡が確認された㉑池谷津遺跡、縄文早期遺物包含層を検出した㉒小室上台遺跡、㉓小室八幡神社塚が所在する。白井市 神崎川左岸、作山遺跡の対面には㉔谷田木曾地遺跡が所在する。谷田木曾地遺跡では、旧石器各種石器、縄文中期住居跡、弥生後期住居跡、古墳後期住居跡、中近世塚等が検出されている。印西市 ⑰武西千駄苜遺跡では旧石器時代から奈良・平安時代にまでの遺構・遺物が検出されている。縄文前期、弥生後期には、多量の遺物が出土している。⑱北の台遺跡は、縄文住居跡、古墳前期の竪穴住居跡、奈良・平安時代住居跡、土製人形、土馬などが発見されている。遺跡範囲内には近世塚を含む。⑲南台塚には近世塚が認められる。

#### 第4節 作山遺跡の概要（第2図）

本遺跡は、a～c地点の3次に渡り調査を実施している。遺跡台帳には縄文時代前期、中期、古墳時代前期～後期、奈良・平安時代と登録されている。a地点では、中世火葬墓・土坑墓25基、中世溝状遺構1条、方形周溝状遺構1基が調査され中世白磁・青磁、銭貨などが出土（1）。b地点では、遺構・遺物は確認されなかった。c地点では、遺構は認められず土師器・須恵器の小破片が出土している（2）。

（1）八千代市教育委員会 2003 『千葉県八千代市 作山遺跡発掘調査報告書』（a地点）

（2）八千代市教育委員会 2009 『千葉県八千代市 市内遺跡発掘調査報告書 平成20年度』（b・c地点）



第4図 1P実測図 (1/20)

## 第2章 検出された遺構 (第3、4図、写真図版)

### 第1節 1P

確認調査範囲北西部分、屋線に近い台地平坦面で検出した。単独の土坑である。長軸は、北西-南東方向。平面形は、上部、底部ともに不整長方形で四隅がやや丸い。規模は長軸180cm、136cm、深さ42cmである。壁面は角度をもって逆台形に立ち上がる。坑底はほぼ平坦。覆土は5層に分層。覆土の主体は暗褐色土。土層によっては炭化物、焼土、ロームが認められる。焼土と炭化物が混入している層は互層。人為的な埋め戻しが想定できる。遺物の出土はなかった。

### 第3章 成果と課題

標高およそ20mの台地縁辺部において土坑1基を検出した。遺構の時期を示す遺物は出土していない。炭化物・焼土・ロームが混入している埋め戻しの土層が観察できた。a地点の調査では、「火葬跡」と「土坑墓」が調査されている。その中には、炭化物・焼土・ロームが堆積している埋め戻しの土坑墓も確認できる。また、市域では間見穴遺跡や井戸向遺跡において、長軸が1m30cm～2m前後、平面が不整長方形を呈する中世土坑墓が検出されている。a地点の土坑墓と覆土が似ている状況、市域の調査事例を考慮するならばd地点の1Pは中世の土坑と判断できる。



調査前風景



発掘状況



セクション (南から)



完掘状況 (北から)



調査風景



調査風景



## 報 告 書 抄 録

ふりがな	ちばけんやちよし さくやまいせき でいーちてん はっくつちようさほうこくしよ							
書 名	千葉県八千代市 作山道跡d地点 発掘調査報告書							
編集者名	伊藤弘一、宮澤久史							
編集期間	八千代市教育委員会							
所在地	〒276-0045 千葉県八千代市大和田138-2 TEL 047 (483) 1151							
発行年月日	西暦2010年(平成22年)3月31日							
ふりがな 所収道跡	ふりがな 所 在 地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	道跡番号					
作山道跡 d 地点	八千代市小池字作山414-1ほか	12221	1	35度 46分 52秒	140度 5分 23秒	20091110 ～ 20100104	16㎡	墓地造成

所収道跡	種別	主な時代	主 な 道 構	主 な 遺 物	特記事項
作山道跡d地点	包蔵地	中世	土坑 1基	—	

要 約	<p>作山道跡d地点本調査の発掘調査報告書で、民間の墓地造成に伴う民間開発等発掘調査事業として八千代市が直営調査として実施した。</p> <p>作山道跡は、八千代市の北部、小池地区に所在し、船橋市、白井市、印西市を流れる神崎川の右岸に立地する。船橋市と八千代市の市境を流れる鈴身川と北ノ谷津に挟まれた舌状台地に展開する道跡でd地点はその舌状台地北側縁辺部に位置する。a地点では、中世火葬跡、土坑墓などを検出。b地点は道構、遺物なし。c地点は道構なし、遺物は土師器、須恵器小破片が出土。</p> <p>今回、調査された道構は、中世の土坑1基で、遺物は検出されなかった。</p> <p>d地点における土坑の検出は、道跡範囲内においての中世道構の分布の一端を示すことができた。</p>
-----	---

千葉県八千代市  
作山遺跡d地点発掘調査報告書  
2010（平成22年）

発行日 平成22年3月31日

編集・発行 八千代市教育委員会

〒276-0045 千葉県八千代市大和田138-2

TEL 047(481)0304

印刷 金子印刷企画